

# No. 1390

## 自衛隊観閲式

— 埼玉・朝霞 —

自衛隊の創立を記念する55年度中央観閲式が10月26日埼玉県朝霞市の陸上自衛隊朝霞訓練場で行われた。式典では鈴木首相が観閲官として初めて出席、栄誉礼を受けたあと、参加各部隊を巡閲。鈴木首相は「国民とともに歩む、自衛隊として国民の心をおのれの心として日ごろの訓練に励み、任務を全うしてほしい」と訓示。パレードでは音楽隊を先頭に防衛大学校、普通科部隊、空挺部隊など4,500人が行進。婦人自衛官がパレードに花を添える。空からはF-4Eが観閲飛行。続いて行われた車両部隊の行進では装甲車、加農砲、対空誘導弾ナイキJなどが次々に登場。昭和29年発足以来30年目を迎えた自衛隊、高まる憲決論議をよそに隊員数は26万を越え規模はともかく最も近代的な防衛力に成長したようだ。

## 西洋美術の源流

— イタリア・ルネッサンス展 —

いま東京上野の国立西洋美術館ではイタリア・ルネッサンス展が開かれています。この展示会には15世紀のはじめ、フレンツェを中心に花開いたイタリア・ルネッサンスが生んだダヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロなど巨匠たちの傑作45点が展示されています。なかでもボッテッチェリの「ケンタロウスを制御するバラス」、ティツィアーノの「ヴィーナスとキューピット」などは海外公開初めてとあって美術ファンには最高の送りもの。この展示会は12月21日まで開かれる予定です。

## 熊にかける青春

— 岐阜・上宝 —

雪をのせた奥飛驒の山々に囲まれた岐阜県吉城郡上宝村。この村に日本ではめずらしい熊牧場がある。月の輪熊、ヒ熊をはじめ白熊、アライ熊など世界各国の熊およそ200頭が放牧され、訪れる人々を楽しませている。牧場にはるばるフランスから熊の研究にやってきた女性がいる。ミリアム・ブデーさんだ。ミリアムさんはバリ郊外の動物園で働いていたが、世界の熊を見て歩くうち日本の月の輪熊のことを知り根っからの熊好きから、矢もたてもたまらず来日してしまった。以来3カ月、すでにベテランの飼育係なみに働いている。仕事が終るとさっそく小学校の体育館へ。週2日はママさんバレーに参加し活躍している。食事も宿舎となっている旅館の家族といっしょにたべるなど日本の生活に溶け込もうとかなかなかの努力家だ。「身のまわりのことは自分で何んでもするし、とにかく手がかかりません」とはおかみさんのはなし。深夜、熊についてのペンを取る。この時間が唯一のひとりの時間だ。ミリアムさんは「クマの力強いところが大好きです。まだあまり知られていない熊の生態には強く興味を覚えます。特に月の輪熊については」と目を輝やかせる。クマの好物のビスケットをかついだミリアムさんの姿を追って何頭もの月の輪熊が移動する。熊とミリアムさん、秋の深まりとともに日一日と熊とミリアムさんの交流は深まっていく。